

北海道函館聾学校キャリアプランニング・マトリックス(キャリア発達段階・内容表)（試案）の策定

発達段階		幼稚園	小学部			中学部	後期中等教育		
目標と基本的方向性		(社会的・職業的に自立した人間の育成) 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す。 ○幼児期の教育から高等学校まで、発達の段階に応じて体系的に実施 ○様々な教育活動を通じ、基礎的・汎用的能力を中心に育成							
		進路の探索・選択にかかる基盤形成		現実的探索と暫定的選択		現実的探索・試行と社会的移行準備			
課題		自発的・主体的な活動促進 ・五感を使って遊ぶ。(一人遊び・群れて遊ぶ体験) ・やってみたいことを見つけ、夢中になって行う。(のびのび活動する体験)	自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ・身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 ・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得 ・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成		肯定的自己理解と自己有用感の獲得 ・興味・関心に基づく勤労観 ・職業観の形成 ・進路計画の立案と暫定的選択 ・生き方や進路に関する現実的探索		自己理解の深化と自己受容 ・選択基準としての勤労観 ・職業観の確立 ・将来設計の立案と社会的移行の準備 ・進路の現実吟味と試行的参加		
推進の主なポイント		自発的・主体的な活動を促す。	社会性、自主性・自律性、関心・意欲等を養う。		社会における役割や将来の生き方等を考えさせ、目標を立て計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定に導く。		生涯にわたる多様なキャリア形成に必要な能力や態度を育成し、勤労観・職業観等の形成・確立に導く。		
基礎的・汎用的能力	人間関係形成・社会形成能力	・他者を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝える力 ・自分の状況を受け止め他者と協力・協働して社会に参画し社会を形成する力	先生や友達と心を通わせ、様々な言葉や表現を身に付ける。 ・経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり、相手の話を聞いたりし、言葉による伝え合いを楽しむ。 ・友達と思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりしようとする。		低学年 ・あいさつや返事をする。 ・自分の考えをみんなの前で話す。 ・友だちと仲良く遊び、助け合う。 ・友だちと思いや考えなどを共有して、共通の目的の実現に向けて、活動に取り組む。	中学年 ・友達の気持ちや考えを理解しようとする。 ・自分の意見や気持ちをわかりやすく表現する。 ・友達と協力して、学習や活動に取り組む。 ・友だちのよいところを認め励まし合う。	高学年 ・自分と異なる意見も理解する。 ・異年齢集団の活動において役割と責任を果たそうとする。 ・思いやりの気持ちを持ち相手の立場に立って考え行動しようとする。 ・お世話になった人などに感謝し親切にする。	・新しい環境や人間関係に適應する。 ・自分の言葉が、相手や他者に及ぼす影響が分かる。 ・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。 ・リーダーとフォロアーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする。 ・他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする。 ・自分の悩みを話せる人を持つ。 ・自分の生活を支えている人に感謝する。	・他者の価値観やユニークさを理解し受け入れる。 ・異年齢の人や異性等、多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る。 ・リーダー・フォロアースhipを発揮して、相手の能力を引き出し、チームワークを高める。 ・互いに支え合い分り合える友人を得る。 ・自己の思いや意見を適切に伝え、他者の意志等を的確に理解する。 ・新しい環境や人間関係を生かす。
	自己理解・自己管理能力	・自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動する力 ・自らの思考や感情を律し、今後の成長のために進んで学ぼうとする力	・諦めずにやり遂げようとする。 ・友達の様々な考えに触れ、自ら考えたり、考え直したりする。 ・してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感して行動しようとする。 ・きまりをつくったり、守ったりしようとする。		・自分の好きなことや嫌なことをはっきり言う ・自分の好きなもの、大切なものを持つ。 ・学校でしてよいことと悪いことがあることが分かる。 ・決まりを作ったり、守ったりする。	・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え進んで取り組む。 ・自分のよいところを見つける。 ・してはいけないことが分かり、自制する。	・係活動などで自分のやりたい係、やれそうな係を選ぶ。 ・自分の長所や欠点に気づき自分らしさを発揮する。 ・教師や保護者に自分の悩みや葛藤を話す。	・自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重する。 ・自己の個性や興味・関心等に基づいて、よりよい選択をしようとする。 ・選択の意味や判断・決定の過程、結果には責任が伴うことなどを理解する。 ・教師や保護者と相談しながら、当面の進路を選択し、その結果を受け入れる。	・自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。 ・選択の基準となる自分なりの価値観、職業観・勤労観を持つ。 ・多様な選択肢の中から、自己の意志と責任で当面の進路や学習を主体的に選択する。 ・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現可能性について検討する。 ・選択結果を受容し、決定に伴う責任を果たす。
	課題対応能力	・仕事をする上での様々な課題を発見・分析し計画を立ててその課題を処理し解決する力	・物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりしようとする。		・作業の準備や片付けをする。 ・自分のことは自分で行う。 ・物の性質や仕組みなどを気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫したりする。	・自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする ・分からないことを図鑑などで調べたり、質問したりする。 ・自分の力で解決しようと努力する。	・自分に必要な情報を探す。 ・憧れとする職業を持ち、今しなければならないことを考える。 ・生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で課題を解決しようとする。 ・将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。	・課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。 ・よりよい生活や学習、進路や生き方等をめざして自ら課題を見いだしていくことの大切さを理解する。 ・進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分のめざすべき将来を暫定的に計画する。 ・将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高める。 ・将来の進路希望に基づいて当面の目標を立て、その達成に向けて努力する。 ・学習や進路選択の過程を振り返り、次の選択場面に生かす。	・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する。 ・将来設計、進路希望の実現をめざして課題を設定し、その解決に取り組む。 ・生きがい・やりがいがあり自己を生かせる生き方や進路を現実的に考える。
	キャリアプランニング能力	・「働くこと」の意義を理解し、立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を取捨選択・活用しながら、主体的に判断してキャリアを形成していく力	・相手の気持ちを考えて関わり自分が役に立つ喜びを感じ、地域に親しみをもつようになる。 ・遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりしようとする。 ・公共の施設を大切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するようになる。		・係や当番の活動に取り組む、それらの大切さが分かる。 ・家の手伝いや割り当てられた仕事の必要性がわかる。 ・身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心を持つ。	・係や当番活動に積極的にかかわる。 ・互いの役割や役割分担の必要性が分かる。 ・いろいろな職業や生き方があることが分かる。 ・働くことの楽しさが分かる。 ・日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。 ・将来の夢や希望を持つ。 ・計画づくりの必要性に気づき、作業の手順が分かる。 ・学習等の計画を立てる。	・施設・職場見学等を通し働くことの大切さや苦労が分かる。 ・学んだり体験したりしたことと、生活や職業との関連を考える。 ・社会生活には様々な役割があることが分かる。 ・身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。	・将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。 ・体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いが分かる。 ・係・委員会活動や職場体験等で得たことを以後の学習や選択に生かす。 ・自分の役割やその進め方、よりよい集団活動のための役割分担やその方法等が分かる。 ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える。 ・上級学校・学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格や学習歴の略歴が分かる。 ・生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。	・卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する。 ・就業等の社会参加や上級学校での学習等に関する探索的・試行的な体験に取り組む。 ・将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する。 ・社会規範やマナー等の必要性や意義を体験を通して理解し習得する。 ・多様な職業観・勤労観を理解し、職業・勤労に対する理解・認識を深める。 ・職業生活における権利・義務や責任及び職業に就く手続き・方法などが分かる。 ・学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たす。 ・ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解する。

※「プランニング」は計画の立案だけではなく、それを実行し、場合によっては修正しながら実現していくことも含むもの。
※キャリア教育の体系化～文部科学省「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」と「幼稚部学習指導要領」から抜粋。